

令和2年12月 下田市教育委員会臨時会 会議録

令和2年12月17日（木）13時30分下田市教育委員会臨時会を下田市立中央公民館2階大会議室に召集した。

出席委員は次のとおりである。

佐々木 文夫	教育長
田中 とし子	委員
渡邊 亮治	委員
西堀 政幸	委員
天野 美香	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
鈴木 美鈴	生涯学習課長
和泉多恵子	学校教育課 参事
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
平川 博巳	学校教育課 課長補佐兼学校教育係長
内田 陽久	学校教育課 こども育成係長
澤地 彩	生涯学習課 図書係長
金守 俊彦	生涯学習課 社会教育係長
原 隆史	学校教育課 主査
井出 涼子	学校教育課 主事

本会議録調製者は次のとおりである。

井出 涼子	学校教育課 主事
-------	----------

1 開会

13時30分教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に西堀政幸委員を選出。

3 協議報告事項

教育長

それでは、まず私から教育大綱についてお話をさせていただきます。

教育大綱につきましては、以前教育委員会でまとめた案を、教育委員の皆様にご覧いただき、ご意見を伺ったと思います。時間がとれなかったもので、ご意見がありましたらご連絡くださいとご連絡させてもらい、その後何名かの委員の皆様からご意見をいただきましたが、申し訳ありませんが、今日もう一度協議していただき、協議したものを総合教育会議に提

出しようと思います。教育大綱につきましては、事務局案ではなく、教育委員会としての案を出して、市長からの意見をいただくこととなります。今回の臨時会で、教育大綱案を練っていただいて、教育委員会として教育大綱を作っていきたいと思います。まず、事務局から修正箇所等を説明していただき、その後皆様に協議をしていただきたいと思いますので、ご意見等いただけたらと思います。それでは事務局から、修正箇所等の説明をお願いします。

参事 一 資料に基づき、概要説明 一

教育長 では、参事の方から教育大綱（案）1ページ、2ページについて説明がありましたが、前回までは教育大綱（案）の表紙に記入させていただいた教育大綱の説明文を、今回はA4一枚にまとめてあります。過去・現在・未来の時間軸を考えて、文章を作らせていただきました。2ページ目の教育の理念につきましては、田中委員の方から担うという言葉に対してイメージが出てこないというご意見をいただきましたが、今回、吹き出しを追加させていただき、説明文を付け加えさせていただきました。また、志をもった人を育てるために大切なことは何ですか？という問いに、「下田が、生きる力を育むための居場所となること」と記載してありますが、その横に、居場所とは何かということで、吹き出しで説明文を付け加えさせてもらいました。

市長の方からは、世界に羽ばたくような、あるいは極端に言えば、科学の進歩もあり、地球を離れて宇宙でも活躍できるような等の意見もあり、子ども達にそのような気持ちも持たせた方がいいという意見もありました。教育大綱の内容を一つ一つ確認しながら、協議していきたいと思いますので、下田市教育大綱（案）の1ページ、2ページについてご意見がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

田中委員 担うということにこだわってきましたが、今回の修正案で、下田のまちづくりに参画する人、下田とつながっていく人、下田に帰ってきた人や、下田に来られた人など、こういう表現の方がスムーズだと思うので、たいへんいい言葉だなと思いました。

教育長 ありがとうございます。では、この言葉を使うということによろしいでしょうか。また前回、市長の方から、下田に限定しない方がいいのではないかという意見も頂きましたが、下田の未来は静岡県、日本、世界の未来に繋がっていくと思うので、子ども達には大きな志を持って、下田の未来を担う人になってもらいたいと思います。吹き出しは、このまま教育大綱に使用する形で大丈夫ですか。

参事 子ども達でも読み解けるように文章を練り直しますが、吹き出しはこのまま入れる予定です。

田中委員 質問ですが、教育大綱の性質に、「なりたい」「育てたい」目標をもって取り組んでいくためのイメージと書いてありますが、どういうことでしょうか。

参事 今までの教育大綱は、こういう人を育てたいという一方的な考えでしたが、子ども達もこういう人になりたいという考えを持って、大人だけではなく、子どもも主体的になってまちづくりに参加してほしいということです。大人、子ども両方とも主体的になるということでこのように書かせていただきました。

田中委員 わかりました。

天野委員 教育大綱の性質のところに、吹き出しを入れて、説明文を入れてはどうかと思います。

参事 わかりました。では、注釈を加えてわかりやすくしたいと思います。

田中委員 本来の教育大綱は、生涯学習があつての教育大綱だと思います。生涯学習として考えれば、誰を主体として考えるのではなく、全ての人に通ずる目標であると考えてよろしいですか。

教育長 はい、大人も子どももそれぞれ主体的に考えてもらえれば、うまくマッチングすると思います。

田中委員 わかりました。

教育長 それでは、教育大綱（案）の3ページについて事務局より説明願います。

参事 ー 資料に基づき、概要説明 ー

教育長 ただいまの説明について、何かご質問等ございますでしょうか。

天野委員 教育大綱（案）各係の主な取組という資料は総合教育会議でも提出しますか。

参事 こちらは取り組みの内容を記載してあるので、この資料も一緒に提出します。教育大綱は方針なので、細かな取り組みについてはわからないのでこの資料と一緒に提出する予定です。

教育長 下田市教育大綱（案）各係の主な取組については、決定ではなく、予算編成などもありますので、今後少し変わってくるかもしれません。今のところ確定はしていません。この前も予算の話を出していただきましたが、委員さんからみて、子ども達にこのようなことをしてもらいたい、そのためにはどんな基盤整備をしたらいいのか、またこんな施設があったらいいのではないかなど、意見がありましたら、お聞かせ願いたいです。たとえば、図書館など、生涯学習の場所を充実してほしい等、ご意見はありますか。

天野委員 図書館は、子どもだけではなく、市民にとっても必要な場所だと思います。今の子ども

もたちは、よそでは、家での家庭学習の他、図書館に行って勉強するなどしています。そういった場所が下田にはなかなかないので、そういう場所が必要ではないかと思えます。

教育長 予算の関係もありますので、教育委員会だけでなく、市長の町づくりと合致するとスムーズに事業が進むと思うのですが、コロナ禍の中で、財政的にも厳しいですが、近い将来、そういったものの取り組みもしていけたらいいと思います。

田中委員 今 IT 関係に力を入れており、子ども達も力がついてきていると思いますが、心を養うということを考えると、学校図書が果たしている役割はどんなことかなと思います。子どもたちが欲しい本が置いてあるか、学校図書が読書の手助けをできているか疑問に思えます。下田市は司書が1人だと聞いていますが、せめて、中学校で1人、小学校で2人くらい配置できればと思います。

教育長 今現在小中学校 11 校ある中で、図書館司書が1人しかいないのは事実ですので、せっかくの機会ですし、田中委員さんの方から総合教育会議の中で、そういった話をしていただければと思います。その他にご意見等ありますでしょうか。

天野委員 親の立場からお話させてもらいますが、下田の子どもは、いろいろなことに対して比べるものがありません。視野が狭くなっていると思います。玉川大学との英語教育の推進等、外部との交流はあると思いますが、そういったものに使う予算はどうなっていますか。

参事 下田内外の職場や働く人の生き方から学ぶこととして、下田東中学校は、リモートで外部の講師の人に授業をしてもらって学んでいます。改めて、下田のいい所を学んだり、自分の将来について考えたりする機会になっています。

天野委員 子ども達に実際に目で見てもらって学ぶことは大切だと思います。自分の知らない社会を見ることで、子ども達の先へのステップとして、自分は何になりたいか、なんで学ぶのかなどを考えることに繋がると思えます。そういう機会がなさすぎると感じるので、ぜひそういったことにお金を使っただけたらと思います。

教育長 ドリーム授業等、下田から巣立って行った人で、活躍している人材を集めて話を聞いたりすることに力を入れています。職場体験など実際にやってみることも大切だと思いますが、こういう授業も大切にしていきたいです。今後、人材バンク等活用し、講演会等開いていけたらとも思えます。その他ご意見等ございますでしょうか。それでは、教育大綱(案)につきましては、ご理解していただいたということによろしいでしょうか。12月25日が総合教育会議になりますので、またご出席の方よろしくお願ひします。協議報告事項について以上とさせていただきます。

6 その他

- ・成人式について、生涯学習課鈴木課長、生涯学習課金守係長より説明。
- ・教育委員会 12 月定例会を 12 月 25 日（金）15 時 00 分から下田市立中央公民館大会議室で開催。

7 閉会

12 月臨時会 12 月 17 日（木）13 時 30 分開会。

教育長 14 時 50 分に閉会を宣す。

会議録署名人